

令和7年度 入学式 校長式辞

平成31年4月8日、小学校入学。5月に令和となり、コロナを乗り越え、6年間のドラマ・小学校編の中で多くのことを学び、これからの可能性を身体中に秘め、今日ここに中学校の入学を迎えた127名の皆さん、入学おめでとうございます。

近藤沼公園を悠々と泳ぐたくさんの鯉のぼりは、小学校という川を泳ぎ切り、中学校というさらに大きく深い川で、これから力強くたくましく心身ともに豊かに成長していく新入生たちの姿と重なります。館林市の桜もちょうど満開となり、新入生の入学をお祝いするこの佳き日に、館林市教育委員会教育委員・井上美智子様、館林市議会議員の皆様、三中区区長の皆様、学校運営協議会委員の皆様の臨席のもと、伝統ある館林市立第三中学校の入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

今日から中学校という新しいステージへ立ち、有意義な三年間となるように、校長として目指してほしい言葉を送ります。それは、「笑顔・前向き・感謝・尊重」です。

まず笑顔。それは優しさであり心の余裕です。笑顔であいさつをしたり、お互いが笑顔になる言葉を交わしましょう。本校校歌2番にも「微笑み交わす師よ友よ」とうたっています。自分も笑顔で、相手も笑顔にさせる学校生活を送れるように努力しましょう。

次に前向き。それは困難を乗り越える力でもあり、ピンチをチャンスに変える魔法の言葉です。ドラゴンボールの主人公・孫悟空は、仲間たちと切磋琢磨し合い、負けても何度でも立ち上がり、失敗をより高い成功に、不可能を可能にしてきました。それは漫画の世界の話ですが、失敗を恐れず、またその失敗を活かした、前向きな生き方は私たちの心に元気をもらいました。人間の生活は上手くいくことばかりではありません。でも、何度失敗しても、失敗はすべて成功への過程のよい経験になるという前向きな考えで、3年間を乗り切り、人として成長して行って下さい。

そして感謝。それは思いやりでありおかげさまでということです。君たちは一人で今日を迎えたのではありません。ご両親や友達、先生、地域の方をはじめとする多くの方の助けがあって、今ここにいます。だから、いつも思いやりの心を持ち、助け合い、互いに感謝し合って学校生活を送ってほしいと願っています。

最後に尊重。それは自分も他者も大切な存在だということであり、自己の人間力を広げるものでもあります。人は様々な考えや事情を持っています。育ってきた環境が違えば、自分の経験や考えと合わないことがたくさんあります。この中学3年間で複数の物差しを持てるように人間力を広げて行って下さい。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。中学時代は「切磋琢磨」という言葉が最も当てはまる時期でもあります。多くの楽しみや様々な試練を、仲間と協力して経験していくことで、子ども達はよりいっそうたくましく成長していくことと思います。私たちは、子ども達の最も身近にいる人生の伴走者として寄り添い、子どもたちのよきサポーターあるいは応援団として手を取り合い、育てて参りましょう。

また、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、昨年度までいただきましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、本年度も本校の全てにお力をお貸しいただければ幸いです。

結びに、笑顔・前向き・感謝・尊重の言葉を胸に、多くの友達を作り、よりよい人間関係を築き、ドラマ・中学校編を充実させて行ってください。本校職員は、君たちの期待や相談に応えてくれる、熱意・アイデア・愛情溢れる人ばかりですので安心してください。それでは、127名の皆さんの希望ある中学校生活へ向けて、幸多かれと応援すると共に、ご来場の皆様のご多幸も祈念いたしまして、式辞といたします。

令和7年4月7日

館林市立第三中学校 第19代校長 橋本文明